

第 42 回 平成 25 年度 大谷竹次郎賞授賞式



受賞作は『新作 陰陽師 滝夜叉姫』（平成 25 年 9 月歌舞伎座上演）で、選考委員を代表して水落潔氏から、「今回の脚本は、原作が歌舞伎の素材となりやすい怪奇小説でしたが、主人公が傍観者であることで舞台化は難しいと思われました。しかし、荒事や変身など歌舞伎の技法をふまえた脚色、出演者 7 人それぞれを活かした職人的技術、その他いろいろな試みで夢枕獏の世界を見事に立ち上げており、全員一致で賞に選出しました」と選評が発表されました。脚本を手がけた今井豊茂氏に松竹株式会社大谷信義会長より賞状と賞金、松竹大谷図書館賞として副賞の記念レリーフ（荒川明照 作）が手渡されました。本賞の授賞は 6 年ぶりです。

受賞者の今井氏は「皆様のお蔭でこの賞を頂きました。『陰陽師』を歌舞伎にと言われて、とにかく“歌舞伎狂言”に書こうと思いました。それからは、演出や出演者、スタッフの皆様のお力です。これからも河竹黙阿弥の言った三親切（座元に親切、役者に親切、お客様に親切）を心掛け、良い作品を上演できるようにしたいと思います」と挨拶されました。

出演者を代表して授賞式に出席された市川染五郎丈は「我々の年代がこれほど多く揃って新作に関わるのはまれで、大変なことです。ただの顔合わせでは

なくドラマとして作り上げることを、今井氏が大きな柱としたことでスケールの大きな芝居になったと思っています。これからも様々な新作にかかわらせていただきたい」と述べられました。

原作者の夢枕獏氏からお祝いの花束も届き、歌舞伎座新開場柿葺落興行で、若手俳優によって上演された新作歌舞伎の成果を讃えていました。



賞状と賞金及び
副賞の記念レリーフ
(荒川明照作)

今井豊茂氏



夢枕獏氏より贈られた花束

■ 松竹系 1月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『天満宮菜種御供 時平の七笑』	○			
	『梶原平三誉石切』	○			
	『松浦の太鼓』	○			
	『鴛鴦襖恋睦 おしどり』	○		○	○
	『仮名手本忠臣蔵 九段目 山科閑居』	○			
	『乗合船恵方萬歳』				
	『東慶寺花だより』	○			
新橋演舞場	『通し狂言 壽三升景清』	○	○	○	○
浅草公会堂	『源平布引滝 義賢最期』	○			
	『上州土産百両首』	○			
	『博奕十王』	○		○	○
	『恋飛脚大和往来 新口村』	○			
	『上 屋敷娘・下 石橋』				
三越劇場(日本橋)	『明治一代女』	○	○	○	○
南座(京都)	『一本刀土俵入』			○	○
	『松竹梅湯島掛額』				
松竹座(大阪)	『村松風二人汐汲』	○			
	『操り三番叟』	○		○	○
	『二人藤娘』	○			
	『於染久松色読販 心中翌の噂』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ジャッジ!』	○	○	○		
『小さいうち』	○	○	○		○
『劇場版 TIGER & BUNNY The Rising』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『くもりときどきミートボール2 フード・アニマル誕生の秘密』

『マリリン 7日間の恋』

『なんちゃって家族』

『アイム・ソー・エキサイテッド!』

『エンダーのゲーム』

『ウルフ・オブ・ウォールストリート』

『マイティ・ソー ダーク・ワールド』

■ 他社演劇公演資料 ■

王子小劇場	1 2 月	ブラジル『性病はなによりの証拠』プログラム
大阪新歌舞伎座	1 月	『中村美律子新春特別公演、中条きよし特別出演』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	1 2 月	文学座『大空の虹を見ると私の心は躍る』プログラム、台本
国立劇場小劇場	1 2 月	『第一八五回 文楽公演』プログラム、床本、資料集 『第四五回文楽鑑賞教室』プログラム、資料集 『邦楽公演、稀曲の会 隠れた名曲の魅力』プログラム
国立劇場大劇場	1 月	『通し狂言 三千両初春駒曳』プログラム、資料集 『第十三回伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
座・高円寺1	1 2 月	『MODEカフカ・プロジェクト2013三部作連続上演』プログラム
ザ・スズナリ	1 2 月	モダンスイマーズ『死ンデ、イル。』プログラム
シアタークリエ	1 2 月	『渴いた太陽』プログラム
	1 月	『クリエ・ミュージカル・コレクション』プログラム
シアターコクーン	1 2 月	『マクベス』プログラム
シアター風姿花伝	1 2 月	DULL-COLERD POP『アクアリウム』プログラム
下北沢駅前劇場	1 2 月	劇団チョコレートケーキ『治天ノ君』プログラム
すみだパークスタジオ	1 2 月	『KAKUTA二作品同時上演新作青春群像×朗読公演』プログラム
帝国劇場	1 2 月	『JOHNNYS' 2020 World』プログラム
日生劇場	1 月	『PLAYZONE IN NISSAY』プログラム
博多座	1 2 月	『博多座文楽公演』
	1 月	『五木ひろし新春特別公演』プログラム、ポスター
ブーク人形劇場	1 2 月	人形劇団ブーク『12の月のたき火』プログラム
三越劇場（日本橋）	1 2 月	劇団民藝『八月の鯨』プログラム、台本 劇団東少『ミュージカル孫悟空』プログラム
明治座	1 月	『コンダーさんの恋 鹿鳴館騒動記』プログラム、台本

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成26年1月号	『国立演芸場公演ガイド』平成26年1月号,2月号
『舞踊芸術』2014年1月-2月号	『ミュージカル』2014年1月-2月号
『Confetti』2014年FEBRUARY Vol.110	『長唄』114号
『伝統文化新聞』2014年(92号)	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年2月号
『演劇ぶっく』2014年2月号	『日本照明家協会誌』2014年1月号
『演劇界』2014年3月号	『日本舞踊』66巻2月号
『演劇実験室◎万有引力』14号	『大向う』平成26年2月号
『花道』34号	『ラ・アルプ』2014年2月号
『悲劇喜劇』2014年2月号	『SAKURA TIMES』Vol.18
『ひろば』2014年128号	『SANZUI』Vol.3 2014 winter
『邦楽の友』平成26年2月号	『SePT倶楽部 information』
『ほうおう』2014年2月号	2013年11月号,12月号,2014年1月号
『JATE』2013-2014年74号	『シアターガイド』2014年3月号
『ジ・アトレ』2013年11月,12月,2014年1月	『テアトロ』2014年2月号
『ジョイン』2013 Nov. No.79, 上演記録に関する調査報告書正会員団体上演記録〔学校公演〕2012年	『つどい』38号,39号,40号
『喝采』2014年4月,5月	『the座』2014年77号,78号

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『ドラマ』2014年2月号	『ロケーションジャパン』2014年2月号(61号)
『映画テレビ技術』2014年2月号	『SCREEN』2014年3月号
『映画時報』2014年1月号	『シナリオ』2014年3月号
『映画秘宝』2014年3月号	『シナリオ教室』2014年2月号
『衛星劇場プログラムガイド』2014年1月号,2月号	『シネ・フロント』2014年1月号
『キネマ旬報』2014年2月上旬号,2月下旬決算特別号	『松竹(社報)』2014年(179号)
『黒澤明研究会誌』25号,26号,27号,28号,29号	『友 I w a n a m i H a l l 』
『NFCカレンダー』2014年1月号,2月号	2014年冬号 No. 380
『日経エンタテインメント!』2014年2月号	

■ 書籍 ■

『歌舞伎 いま・むかし』	津川安男(著)	新人物往来社
『歌舞伎座五代 木挽町風雲録』	石山俊彦(著)	岩波書店
『歌舞伎役者の裏と表 歌舞伎は裏舞台のほうがおもしろい』	綾瀬吾郎(著)	碧天舎
『上方歌舞伎集(新日本古典文学大系95)』		岩波書店
『勘三郎伝説』	関容子(著)	文藝春秋
『小山三ひとり語り』	中村小山三(著)	演劇出版社
『写真で見る外国映画の100年』	SCREEN(特別編集)	近代映画社

≫≫ ご寄贈いただきました

2014年1月24日

歌舞伎の竹本三味線として舞台上で活躍された、豊澤伊三郎師旧蔵の竹本三味線譜414冊を、義太夫協会様を介して、ご寄贈いただきました。

貴重な資料として末永く大切に保存させていただきます。ありがとうございました。

≫≫ 資料提供(2013年12月~2014年1月) ※許可を得た方のみ掲載しております

プログラム掲載

- 「初春新派公演『明治一代女』」2014年1月2日より26日 三越劇場
『明治一代女』昭和10年11月明治座初演台本の表紙を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『ファミリーヒストリー 中村獅童』NHK総合テレビ 2014年1月2日10:15~11:05(再放送)
平成3年6月歌舞伎座ポスターを提供
- 『疾風怒濤の“KABUKI”者 市川海老蔵にござりまする』日本テレビ 2014年1月3日21:00~23:24
平成11年1月浅草公会堂ポスターを提供

第41回所蔵資料展示 「スーパー歌舞伎」展

展示期間:2014年1月31日~2014年3月14日/於 閲覧室

スーパー歌舞伎とは、三代目市川猿之助(現猿翁)が考案した、歌舞伎の「歌」「舞」「伎」の要素を備えつつ、最新の美術、音響、照明、舞台機構を駆使して上演する新しい歌舞伎のことです。現代の感覚を取り入れたテーマ性のある物語、現代語を使用した台詞、宙乗りが登場するスケールの大きな舞台は、興行的に大成功しました。スーパー歌舞伎は全部で9作品を数えます。今回は各作品の、初演の資料を展示しました。



奥が2.7cmの厚みの全三幕の稽古用台本。手前は各幕に三分冊した稽古用台本的一幕目の台本で7mmの厚み。

第1作『**ヤマトタケル**』 昭和61年(1986)2・3月新橋演舞場
梅原猛(作)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、市川猿之助(台本・演出)

●舞台面スチール(103枚) ●スチール ヤマトタケル(三代目市川猿之助=二代目市川猿翁)

スーパー歌舞伎は場面転換が多いため、一場面ずつの舞台装置を記録する舞台面のスチールの数が多くなる。『ヤマトタケル』の舞台面は103枚を数えている。

第2作『**リュウオー 龍王**』 平成元年(1989)3・4月新橋演舞場
市川猿之助(企画・総合演出)、呂瑞明(作)、奈河彰輔(作)、戸部銀作(監修)、李光(導演)、永山武臣(総合プロデュース)

●台本(第1稿) ●スチール 海彦(三代目市川猿之助=二代目市川猿翁)、哪吨[なと](李光)

歌舞伎と京劇の融合が実現した作品で、台本は中国語と日本語が併記されたものになっている。

第3作『**オグリ 小栗判官**』 平成3年(1991)4・5月新橋演舞場
梅原猛(作)、戸部銀作(監修)、市川猿之助(台本・演出・美術監督)

●プログラム

毛利臣男デザインの「婆沙羅」をイメージした衣裳は舞台のひとつの見どころで、プログラムの表紙の猿之助の衣裳にも、薔薇を採用するなどの斬新さを見ることができる。

第4作『**八大伝 南総里見八大伝**』 平成5年(1993)4・5月新橋演舞場
滝沢馬琴(原作)、横内謙介(脚本)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、市川猿之助(演出)

●台本(稽古用台本)、台本三分冊(稽古用台本)

小劇場系の劇団を主宰する劇作家横内謙介による脚本。当初の稽古用台本は499ページもの厚さだったが、稽古中持っているのがつらい重さのため、次の稽古用台本は各幕に分冊して作られたという逸話がある。

第5作『**カグヤ 新竹取物語**』 平成8年(1996)4・5月新橋演舞場
横内謙介(作)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、市川猿之助(演出)

●スチール 帝(三代目市川猿之助=二代目市川猿翁)、かぐや(二代目市川笑也)ノ日輪の女神(三代目市川猿之助=二代目市川猿翁)、月の帝ツキヒト(四代目市川段四郎)

第1作『ヤマトタケル』で猿之助は国立劇場の歌舞伎俳優養成所出身の市川笑也を抜擢し、話題となった。その後の作品でも笑也は猿之助の相手役を演じ続けており、『カグヤ』でもタイトルロールを演じている。

第6作『**オオクニヌシ**』 平成9年(1997)4・5月新橋演舞場
梅原猛(作)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、市川猿之助(演出)

●図書「オオクニヌシ」梅原猛(著)、文藝春秋(刊)

●スチール ヤガミヒメ(二代目市川笑也)、オオクニヌシ(三代目市川猿之助=二代目市川猿翁)、タケミナカタ(二代目市川猿弥)、コトシロヌシ(初代市川右近)、ミホツヒメ(三代目市川笑三郎)、タケオサケビ(初代市川延夫=二代目市川猿三郎)、スクナヒコナ(初代市川段治郎=二代目市川月乃助)、スセリヒメ(二代目市川春猿)

「二十一世紀歌舞伎組」とは猿之助の一座の若手俳優たちの集団名。このスチールにはその「二十一世紀歌舞伎組」の役者たちの姿を見ることができる。

第7作『**新・三国志**』 平成11年(1999)4・5月新橋演舞場
市川猿之助(演出)、羅貫中(作「三国演義」より)、横内謙介(脚本)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)

●プログラム ●図書「夢みるちから スーパー歌舞伎という未来」市川猿之助・横内謙介(著)、春秋社(刊)

第8作『**新・三国志Ⅱ 孔明篇**』 平成13年(2001)4・5月新橋演舞場
市川猿之助(演出)、羅貫中(作「三国演義」より)、横内謙介(脚本)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、呂瑞明(監修)

●プログラム

第9作『**新・三国志Ⅲ 完結篇**』 平成15年(2003)3・4月新橋演舞場
市川猿之助(演出)、羅貫中(作「三国演義」より)、横内謙介(脚本)、戸部銀作(監修)、奈河彰輔(監修)、呂瑞明(監修)

●プログラム

『新・三国志』全篇にわたり、プロモーション・ディレクターとして横尾忠則が参加し、公演ポスターのデザイン製作にあたった。スーパー歌舞伎ならではの大胆なデザインで、プログラムの表紙にも採用されている。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年1月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

個人（敬称略）

浜口美由紀

どうもありがとうございます

■ 春季特別整理休館のお知らせ ■

平成26年3月15日（土）より3月30日（日）まで、資料整理のため休館とさせていただきます。
平成26年3月31日（月）より通常どおり開館いたします。

■ 編集後記 ■

▼ 久しぶりに大谷竹次郎賞ができました。副賞のレリーフも久しぶりに荒川明照先生に製作していただきました。レリーフは陶器のプレートの上に金属でできた鳳凰がとりつけられています。荒川先生曰く、このプレートは手作りのため、釉薬や窯の状態により毎回色が異なるとのこと。今回、二度目の受賞となった今井豊茂氏によれば、前回のプレートの色は深い紫色だったそうです。今回は明るい橙色で、また異なる風合いになっています。二度目の受賞だからこそ分かるレリーフの違い。「是非三度目も！」と期待が膨らみます。本当におめでとうございました。

▼ 昨年に当館が、支援募集のため利用したクラウドファンディングサイト「Readyfor?」で、現在、松竹株式会社が小津安二郎監督の映画作品『晩春』デジタル修復プロジェクトの支援者を募集しています。フィルムの経年劣化から作品を救うため、映画のフィルム・コマ・コマをスキャンしてデジタル修復をし、公開当時の画調を蘇らせていきます。興味を持たれた方は是非、ネットのプロジェクトページをご覧ください（2月20日まで）。

https://readyfor.jp/projects/ozu_remas_tering

● 利用案内 ●

開館時間
平日午前10時～午後5時

休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

